

ロシアの支配層(「エリート」)、代理勢力、オリガルヒに対するタスクフォース 共同声明(仮訳)

ロシアの支配層・代理勢力・オリガルヒ(REPO)タスクフォースは、制裁を受けたロシア人の300億米ドル以上の資産を制限又は凍結し、制裁対象者の高額資産を凍結又は差し押え、制裁対象のロシア人の国際金融システムへのアクセスを大幅に制限するために、多国間の広範な連携を活用してきた。REPO参加国は、国内及び国際的な、緊密かつ広範な連携と協力によって、これらの成功を収めた。

財務、司法、内務及び貿易大臣並びに欧州委員が、制裁対象であるロシア人を国際的な金融システムから孤立させるために、リソースを優先配置し、協働することにコミットして以来100日間で、REPO参加国は以下を実行した。

- 制裁対象のロシア人の300億米ドル相当以上の金融口座や経済資源を制限又は凍結。
- 約3,000億米ドル相当のロシア中央銀行の資産を凍結。
- アマデア号、タンゴ号、アモーレ・ヴェロ号、ラヒル号、フィ号など、制裁対象のロシア人が所有、保有、管理しているヨットやその他の船舶を差し押え、凍結又は留置。
- 制裁対象のロシア人が所有、保有、管理している高級不動産を差し押え又は凍結。
- 国際金融システムへのロシアのアクセスを制限し、同国がウクライナでの不当な戦争を続けるために必要な技術を調達することをより困難化。

さらに、REPO参加国は、適当かつ可能な場合に、例えば、刑事法制の中で、資産の凍結、差し押え、剥奪、又は処分を行うことを可能とするそれぞれの法的枠組みを改

正又は拡大、そして実施するための取組を行っている。このような取組は、加盟国にREPOの目的をより達成しやすくする。

REPOは、効果的な制裁の実施を促進するために、民間部門と協働してきた。制裁とマネーロンダリング／テロ資金対策の両方の規制を遵守する必要がある金融機関やその他の団体は、制裁対象となる資産を特定・不動化し、ロシアによる制裁逃れを阻止するために協力してきた。入手可能な場合、REPO参加国は、銀行口座や実質的支配者情報などの登録機関を利用してきた。さらに、REPO参加国は、REPOタスクフォース以外の国から寄せられた協力を深く感謝している。

REPOの任務はまだ終わっていない。今後数カ月、REPO参加国はロシアの制裁対象資産を引き続き追跡し、制裁対象のロシア人がREPO参加国が一体となって課してきた措置を弱体化しようとすることを防止する。我々は共に、我々の制裁が、ウクライナにおけるいわれのない継続的な侵略についてロシアにコストを課し続けること、そして資金や経済資源が制裁対象者に、あるいはその利益のために提供されるのを防ぐことを確保する。この取組を行うにあたり、我々は、ロシアが戦争を起こすことを選択し、これを継続することによって悪化させた、世界の商品市場及び食糧供給に対する波及効果から守りつつ、制裁対象として指定された個人及び団体に対する制裁効果の最大化を追求する。

我々は、REPOの取組を進めるにあたり、ロシアの侵略戦争に対する、断固とした、そして協調した制裁実施に対する共通のコミットメントを強調し、欧州委員会の資産凍結・差し押えタスクフォースとの協力を含め、これまで以上に我々の協力を緊密に

する取組を継続する。我々はロシアに対し、この戦争の代償を引き上げ続ける。我々は、経済・金融制裁の完全な実施と執行に引き続きコミットし、制裁逃れと迂回に対する警戒を続ける。